

認定書

国住指第1621号
平成 18年 12月 15日

日鐵建材工業株式会社
代表取締役社長 小山 巖 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第2条第七号並びに同法施行令第107条第一号及び第二号(床:2時間(第一号)、1時間(第二号))の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP120FL-0050
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
普通コンクリート・デッキプレート造床(デッキ合成スラブ・連続支持)
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

(別 添)

普通コンクリート・デッキプレート造床 (デッキ合成スラブ・連続支持)

2. 寸法及び形状等

(寸法単位: mm)

項 目	申 請 構 造
床 厚	80 以上
支持間隔	2550 以下 (積載荷重 18516 N/m ² 以下) 3500 以下 (積載荷重 8214 N/m ² 以下) 4500 以下 (積載荷重 3701 N/m ² 以下)
支 持	連続支持

3. 構成材料

1) 主構成材料

(寸法単位: mm)

項 目	申 請 構 造
①デッキプレート	<ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3352 (デッキプレート) ・厚 さ 1.0 ~ 1.6 ・山 高 さ 120_{±1.5} ・働 き 幅 600_{+8,-2} ・形状寸法 別添-4 参照 ・種類記号 (1) ~ (5) のうち、いずれか一仕様とする (1) SDP1T (2) SDP1TG (3) SDP2 (4) SDP2G (5) SDP3
②コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> ・種 類 普通コンクリート ・呼び強度 18, 21, 24 N/mm² ・厚 さ デッキプレート山上から 80 以上

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

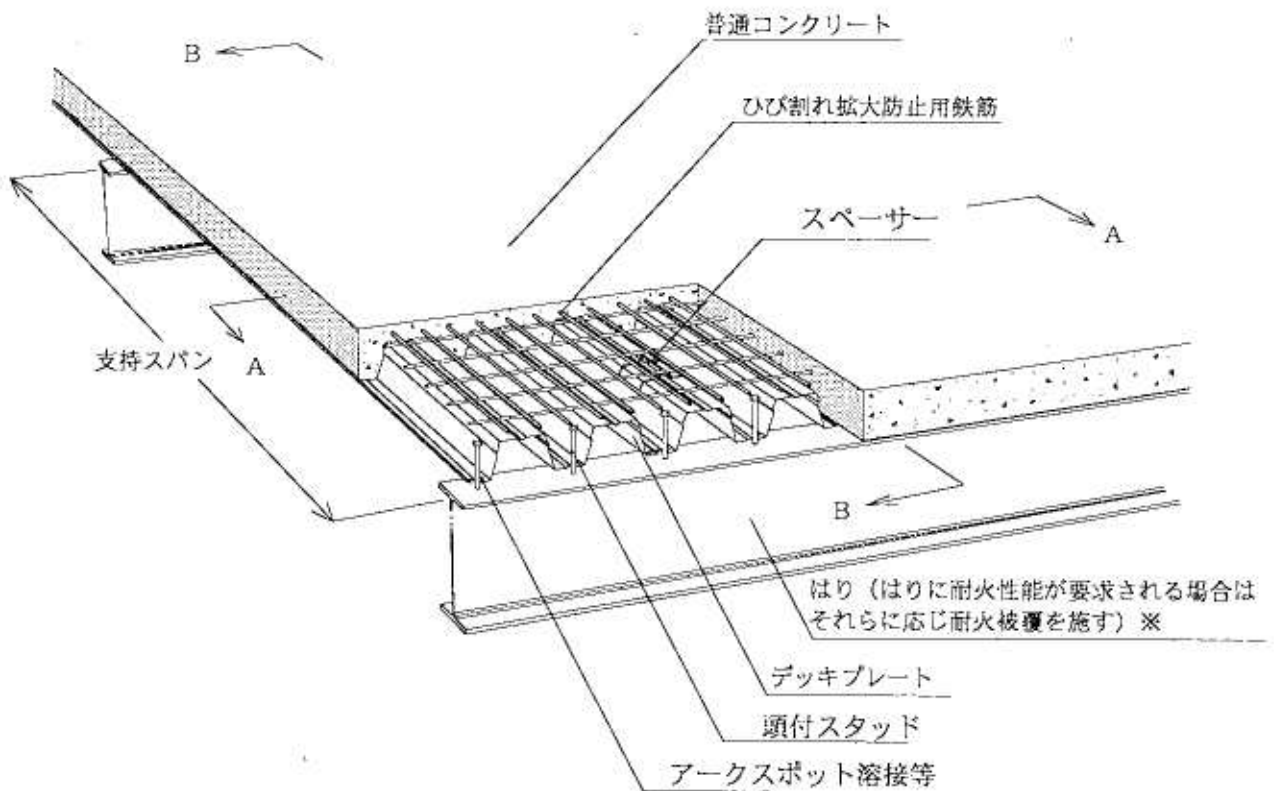
項 目	申 請 構 造
①ひび割れ拡大防止用鉄筋	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 溶接金網</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3551 (溶接金網及び鉄筋格子) ・種 類 (イ)～(ニ)のうち、いずれか一仕様とする (イ) WFP (ロ) WFC (ハ) WFR (ニ) WFI ・断面寸法 φ6 以上 ・間 隔 100 以下×100 以下 ・かぶり厚さ 床上面から 30 以上 <p>(2) 鉄筋 (異形鉄筋)</p> <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) 鉄筋コンクリート用棒鋼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3112 ・種 類 (イ)～(ホ)のうち、いずれか一仕様とする (イ) SD295A (ロ) SD295B (ハ) SD345 (ニ) SD390 (ホ) SD490 ・断面寸法 D10 以上 ・間 隔 200 以下×200 以下 ・かぶり厚さ 床上面から 30 以上 <p>2) 鉄筋コンクリート用再生棒鋼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3117 ・種 類 (イ)、(ロ)のうち、いずれか一仕様とする (イ) SDR295 (ロ) SDR345 ・断面寸法 D10 以上 ・間 隔 200 以下×200 以下 ・かぶり厚さ 床上面から 30 以上
②スペーサー	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 鉄線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線 径 4 以上 ・間 隔 1000 以下 <p>(2) セメントモルタルブロック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸 法 25 以上×20 以上×20 以上 ・間 隔 1000 以下

(寸法単位：mm)

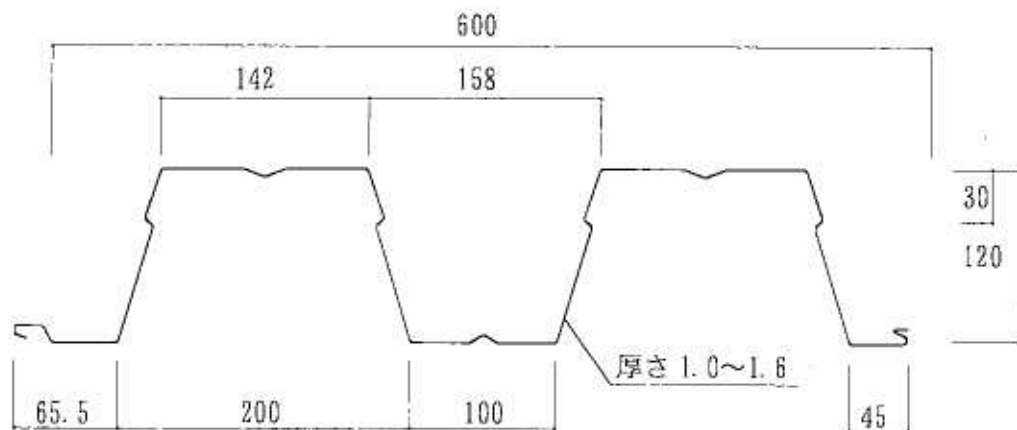
項 目	申 請 構 造
③はりと床板の接合方法	頭付きスタッド ・規 格 JIS B 1198 (頭付きスタッド) ・寸 法 $\phi 16$ 以上 \times $\ell 150$ 以上 ・間 隔 300 以下
④はりとデッキプレートの接合方法	(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1) アークスポット溶接 (2) すみ肉溶接 (3) 焼抜き栓溶接 (4) プラグ溶接 (5) 打込み鉚

4. 構造説明図

[1] 透視図



[2] デッキプレートの形状・寸法

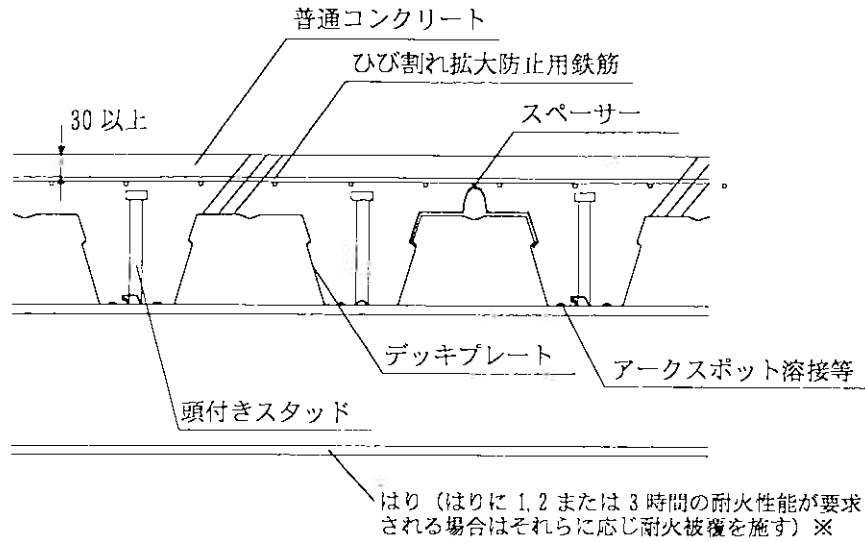


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

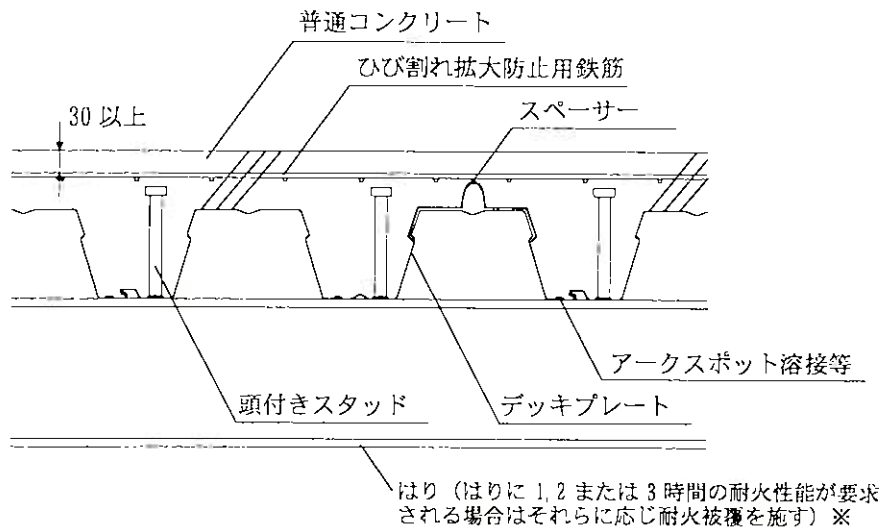
※: 本評価内容に含まない

[3] A-A断面図

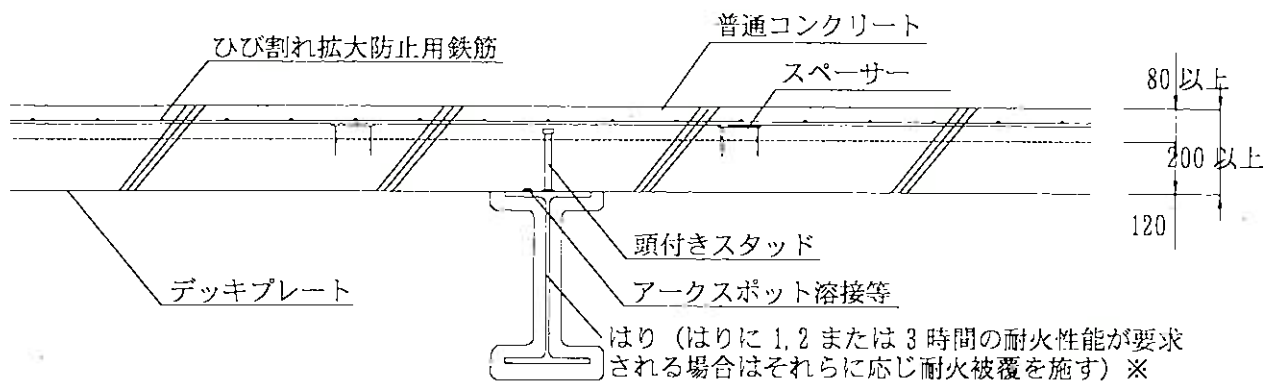
(寸法単位：mm)



[4] 中間はり断面図



[5] B-B断面図



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

※：本評価内容に含まない

5. 施工方法等

<施工図>

4. 構造説明図と同じ

<施工手順>

1) デッキプレートの敷込み

デッキプレートを墨出し線に合わせてはりに配置し、デッキプレートをはりにアークスポット溶接等で仮止めする。

2) 床スラブとはりとの接合

床スラブと鉄骨はりとは、頭付きスタッドで結合する。

頭付きスタッドの接合方法は、平成 14 年国土交通省告示第 326 号の規定または「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」（日本建築学会）もしくは「各種合成構造設計指針・同解説」（日本建築学会）によるものとする。

3) ひび割れ拡大防止

コンクリートのひび割れ拡大防止のためスラブ上面より 3cm 以上の位置に溶接金網または異形鉄筋を設置する。

4) コンクリート打設

鉄筋が移動しないよう注意しながらコンクリートを不陸なく打設する。

コンクリートの施工については、日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に準拠する。

5) 仕上げ

コンクリートの表面に金ごて等の仕上げを施す。

6) 養生

施工後の養生は、日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に準拠する。